

2022-23 年度RI 会長 ジェフアー・ジョーンズ (カナダ: ウィンザー・ローズランド RC) 第 2820 地区ガバナー大野治夫 (つくば学園 RC)

国際ロータリー 第2820地区(茨城) 第1分区 日立港ロータリークラブ週報



2022. 8. 18
第 2023 回例会

会長 山口憲生 会長EMK 鈴木崇久 幹事 佐藤泰子

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12



9月は基本的教育と
識字率向上月間です

会長挨拶 山口憲生 会長



大野ガバナー公式訪問の後、お盆休みに入り、2週間のご無沙汰です。

しかも 21 日はインターアクト年次大会参加例会です。よって 25 日は休会で次回は 9 月 1 日月初めの例会となります。ことほど左様に時は流れます。新型コロナの感染状況はどうなるのでしょうか。小生も 4 回目ワクチン接種を終えましたが、このピークが過ぎて徐々にもとに戻り、思い切って情報集会や夜間例会その他の会合ができるようになるのでしょうか。

そんな中、長期交換留学生の推薦が茨城キリスト教学園からありました。来年 9 月の派遣となるものですが実現すると、2018-19 年度の秦美優香さん (フランス) 以来ということになります。先方からの派遣学生の受入もありますので来年度鈴木崇久会長年度になりますがその心づもりも必要となり、よろしくお願いいたします。

また、地区補助金として中学校スポーツ大会への入金があり、3 月開催に向け準備に取り掛からねばなりませんし、インターアクト年次大会がきっかけとなったウクライナ支援活動も今後のテーマになるかもしれません。

繰り返しになりますが、ことほど左様に時の流れは止まってはくれませんから、私たちのクラブの活動にも休みは無いようです。そのなか猶更、早く息抜き行事が思い切ってできるように祈りたいと思います。なお今日は、地区会員増強委員会からの出前卓話として、日立ロータリークラブの鈴木茂美地区委員からお話いただきます。よろしく会員増強に発破をかけていただきたいと思います。

例会報告

開会点鐘 山口憲生 会長
R ソング 「我等の生業」

本日のビジター紹介 今野紀仁 親睦活動委員長

地区クラブ奉仕委員会委員
鈴木茂美様 (日立 RC)
日立市しいの木学園 横田平道様
ようこそいらっしゃいました。

出席報告 山口彰二 SAA

会員数	出席数	出席率
35	20	64.52%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
4(本日出席1名)	12	100.0%

本日の食事メニュー：弁当

にこにこBOX 報告 山口彰二 SAA

【ご芳志を頂いた方からのコメント】

- 鈴木茂美様…本日の出前卓話、皆さんの貴重なお時間をいただきます。よろしくお願いいたします。

目標 1,266,000 円
本日のご芳志 10,000 円
トータル 464,000 円

幹事報告 佐藤泰子 幹事

【受信書簡・メール】

- ・「茨城海岸美化プロジェクト」延期のお知らせ
- ・2022-23 年度「この指とまれ」プロジェクト賛同ご協力をお願い
- ・グローバル補助金に関する勉強会のお知らせ

- ・米山世話クラブ・準世話クラブ・学友会合同セミナー開催方法の変更のご案内
- ・日立市青少年育成推進会賛助会員への協力をお願い
- ・みなみひまわり通信 8月号
- ・日立市美術展覧会オープニングセレモニー及び表彰式ご出席のお願い
- ・第 63 回日立港まつりご支援の御礼

【第 2 回理事会報告】

【議題】

1. 7 月度出席率
2. プログラム変更
3. 特別納入会費の処理内規制定と特別納入会費受け入れの件
4. 日立港ロータリークラブ細則第 6 条第 5 節の会費の一部免除規定適用の件
5. 第 25 回インターアクト年次大会について
6. 青少年奉仕プログラム長交換派遣生推薦の件
7. 日立市青少年育成推進会議賛助会費について

【審議結果】

1.7 月度出席率 100.0% : 承認
 会員数 (免除除く)

- 7/7 34 名、出席 24 名 M10 名、出席率 100.0%
- 7/14 33 名、出席 23 名 M 10 名、出席率 100.0%
- 7/21 33 名、出席 24 名 M 9 名、出席率 100.0%
- 7/24 34 名 出席 17 名 M17 名、出席率 100.0%
- 7/28 33 名 出席 24 名 M 9 名、出席率 100.0%

2.プログラム変更 : 承認

9/1 (木) テーマ卓話① →
 地区研究会・セミナー参加報告に変更

3.特別納入会費の処理内規制定と特別納入会費受け入れの件 : 承認

題記の会計処理上の内規を制定の上、某会員からの特別納入会費を受け入れる。

4.日立港ロータリークラブ細則第 6 条第 5 節の会費の一部免除規定適用の件 : 承認

5.第 25 回インターアクト年次大会について : 承認

6.青少年奉仕プログラム長交換派遣生 (2023.8 月出発) 推薦の件 : 長期派遣生の推薦については承認

ただし、交換留学としてのインバウンド派遣生のホームステイに関しては、第 1 分区全体の協力を依頼する。

7 日立市青少年育成推進会議賛助会費拠出 : 承認
 1 口 5 千円

【その他】

◆2022-2023 年度地球環境保全「茨城海岸美化プロジェクト」開催について笹島ガバナー補佐への回答文

下記の実施の可否につき理事役員に意見聴取したところ、大勢は次の通りです。

1. 当面は延期する。開催日は、感染状況が落ち着いてから決める。
2. 実施は、分区一斉、クラブごと、いずれでもよいが当クラブ単独で実施してもよい。久慈浜海岸が近い。
3. 感染防止を徹底する必要がある場合は、コロナワクチン接種済者に限定するなど制限を設ける。



◆笹島ガバナー補佐から延期の連絡

9 月 18 日 (日) の「茨城海岸美化プロジェクト」は日程を延期して合同で行うこととする。日程は 9 月 3 日 (土) の第 2 回会長・幹事会で決定する。

◆「この指とまれ」プロジェクト賛助について
 エントリー 4 事業に対して各 1 万円を賛助する。

【報告】 ●2022-23 年度日立国際交流協議会会費 5 千円を拠出した。(送金締め切り 8 月 1 日)

しいの木学園寄せ植えプランター紹介のお礼



日立市しいの木学園
 横田平道様

先日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。話下手な私の話を聞くのは苦痛だったと思います。皆様が温かい眼差しで話を聞いていただいたことをとても嬉しく思いました。寄せ植えの入れ替えを申し込んでいただいた方に注文して良かったと思っていただけるように利用者と力を合わせ一生懸命行って行きたいです。私たちが努力し成功体験を得ることで他施設に広げて行きたいです。皆様のご厚意にお応えするためにも、あちらこちらでプランターを見られるようにしたいです。引き続きご協力お願いいたします。

委員会報告

【インターアクト委員会 太田秀夫 委員長】

「第 25 回インターアクト年次大会」のプログラムと役割分担をお配りします。集合は午前 9 時、学園高等学校の事務室前です。駐車場は学園北門から入り、体育館を左折したところにあります。

本日のプログラム

外部卓話

鈴木茂美 様

『 元気なクラブづくりをお手伝い 』



私は昨年度に引き続き、地区のクラブ奉仕委員会 公共イメージ委員に所属いたします。今年度もクラブ奉仕委員会では、皆様に会員増強の理解度の向上を図るため、「元気なクラブづくりのお手伝い」と題して、会員維持・増強出前卓話を実施しています。今年度、地区委員は所属クラブを含め近隣のクラブにも積極的に訪問する、という方針のもとで私が担当いたします。

どうぞお付き合いください。言うまでもなくロータリーが一番大切な財産は会員の皆さんです。堅固な会員基盤があれば、クラブに活気もたらされ、クラブの存在感が高まり、地域社会でのロータリーの奉仕力がさらに高まります。その為に現状を把握し、問題解決の糸口を話してまいります。

現在、当地区には55(茨城Eクラブ含む)クラブがあります。会員数は2022年6月末現在では1833人と、この20年間で700名を超える減少という危機的な状況に陥っています。会員の傾向として、70歳以上の会員が多く、30代、40代の会員が少ないのが現状です。そのような中で、JC活動が終了した後、先輩に誘われて入会して下さったJCOBの方々には貴重な存在です。また、女性会員については、6月末現在、地区では8.67%となっていて、これは、茨城県内の女性経営者の割合とほぼ同率です。女性は純粋に奉仕活動がしたいとの思いから入会するのではないのでしょうか。地区のボランティアやPTA活動では成しえない国際的な奉仕活動がしたい等々の理由からです。頑張っって仲間を増やしましょう。

今年度、大野ガバナーは会員数2,000名への回復(純増2名以上)、女性会員比率10%以上(2023-2024年度達成目標は15%)を掲げています。この目標を達成するためには、各クラブが直面している課題を克服しなければなりません。現在当地区が直面してる課題の第1位は会員の高齢化です。未だにリモート例会に不慣れな会員が少なくありません。第2位は会員の減少です。コロナ禍の影響

は無視できません。第3位は会員候補者の不在です。地域の魅力ある企業の減少も無縁ではありません。第4位は例会出席率の低下です。一度疎遠になってしまうとなかなか出席しにくいものです。ぜひ会員に声をかけ、気にかけていることを知らせてください。

次にクラブ運営面についての課題ですが、第1位は例会のマナー化、第2位はネット対応不十分、第3位は会員に対する研修不足、第4位は公共イメージ・認知度の低さです。昨年度、新井ガバナーを中心に世界中で実施された「ロータリー地球環境保全プロジェクト」による海岸の一斉清掃事業が、当地区では今年も9月18日に県内で一斉に実施される予定でした。残念ながらコロナ禍で延期になりましたが実施されれば、皆さんの行動が素晴らしい公共イメージアップにつながるものと信じて疑いません。

最後になりましたが、昨年度会委員増強に顕著な成果を挙げられたクラブを紹介いたします。

水戸さくらRCでは期首会員22名から34名純増12名、しもだて紫水RCでは期首会員43名から51名純増8名、いずれも「クラブチャレンジ宣言」がキーワードです

2021-22年度 水戸さくらRC

会長 会長 大澤一茂(おおさわ かずしげ)
幹事 岡田 晃(おかだ あきら)45歳 入会歴3年

- ロータリークラブセントラル: 会員目標入力2名
- 過去5年間の会員推移: 32名、28名、27名、24名、22名(女性2名)
- 期首会員: 22名 → 34名 (12名増)
- 新会員内訳: 20代1名、30代5名、40代4名

新井ガバナーの言葉「創立30周年を30人で迎えたら」に対し「その場で30名クラブチャレンジを宣言」

主な手法: 知人、初対面の方を含め事業主に対し徹底的に声掛けをした。ロータリーに入会し人間形成と人脈を作りませんか。一度しかお誘いしないこと。メリットとデメリットを伝え 経営者なら即決してはと迫る。

メリット: ロータリークラブは人脈ができる。人脈を作りませんか、ステータスのあるクラブ、自分の能力を試してみませんか。
デメリット: 会費が高い、お金がかかるが、月々にすると2万円程度、はるかに得るものが多い。

1年間、幹事はクラブ内でよそ者扱い、若者、バカモノ扱いをされた。それらを無視して1年間手抜きせず声を掛け続けた。
入会した新会員の皆さまには、「入会してよかった」と言われるように入会後のサポートも大切だと考えている。

2021-22年度 しもだて紫水RC

会長 新井誠(あらい まこと)58歳 父親はチャーターメンバー
幹事 高田 昌明(たかだ まさあき)

- ロータリークラブセントラル:新会員増強目標入力5名
- 過去5年間の会員推移:36名、40名、38名、43名、43名(女性4名)
- 期首会員43名→51名(8名増、内女性会員1名)
- 新会員内訳:40代3名、50代5名

会長の年初スローガン:「50人クラブを目指し挑戦しよう」と 年初より「大きな目標にチャレンジ宣言」

- 確固たる会員基盤があれば、奉仕活動の可能性も広がる。
- 確固たる会員基盤 → 地域社会における存在感も高まる。
- 明確な数値目標:純増目標7名の「50人クラブ」を目指した。
- 嫌がられても、嫌われても良いから1年間増強を目指した。
- 新会員の内訳は、会長3名、会員紹介5名
- コロナ禍で休会中も増強の声掛けは続けた。

2つのクラブの共通点

- コロナ禍でも、「大きな会員増強目標を掲げ」チャレンジして1年間「会長自ら多くの方に声掛け」を続けた。
- 会員増強実現には「会長・幹事のリーダーシップ」「会長・幹事の本気度が非常に重要」だとわかった。
- 成功は、嫌がられても、嫌われても良いから1年間増強を目指した結果である。

ロータリーの一番大切な財産は会員の皆さんです。会員増強は理論ではなく実践です。全会員が自分にできることから始める必要があります。地区の数値目標は 2000 名、各クラブの数値目標は純増 2 名です。共に頑張りましょう。ご清聴ありがとうございました。

今週の会場の花
“ピンクのグラジオラス”
花言葉:ひたむきな愛



閉会点鐘 山口憲生 会長

★★ 行事の申込受付案内 ★★

◆ 第1分区分ロータリークラブ親睦ゴルフ大会

10月1日(土) 日立ゴルフクラブ
申込締切 9月8日(木) 例会まで

◆ 2022-23 第 2820 地区 地区大会

10月29日(土) つくば市ノバホール
10月30日(日) ノバホール・ホテル日航つくば

今後のスケジュールのご案内

- 9月8日(木) 12:30~ 美かの
「会員卓話 平元淳治さん」
「私とRC 宮田秀昇さん」
9月15日(木) 12:30~ 美かの
「会員卓話 糸賀正俊さん」
「茨城キリスト教学園 IAC 会長・副会長委嘱式」

編集後記

夏休みの思い出にと、次男のリクエストで、家族で東京ドームへ野球観戦に行った。3年前の都市対抗野球観戦以来の久しぶりの東京ドーム。実際この目に映る選手の佇まいはもちろんの事、バットに球が当たる生音、ミットで球をキャッチする生音。応援の声、音楽、モニター、アナウンス、空気、空調。全てが心地よかった。何だかそこにいるだけでワクワクして楽しかった。巨人が負けようが、守備でミスをしようが、ヒットすら片手で数える程度しか打てなくても大らかな気分になれた。ゲートでは厳重な荷物チェック、体温を測り入場。そこら中に消毒液があり、係の人がマスク着用のプラカードを掲げて何度か注意を促したり、場内全てにおいて現金が使えなかったりと以前との違いに違和感はない。私は席に着くや否や、可愛いお姉ちゃんが注ぐ生ビールをいただきご満悦。気分はおっさん。最高なひとときだった。お昼過ぎから出かけて、とんぼ返りではあったが、コロナ禍で制限はありつつも、何でもかんでも中止ではなく、おかれた状況下において、どうやったら実行できるかの手段や方法を見つけ、視野を色々な角度から柔軟に物事を考える事が必要だと思ったし、その力をつけたいと思った。感染に気をつけながらの観戦。夏休みのステキな思い出ができた。(ご)

発行: 日立港ロータリークラブ (翌例会日)

編集: 会報・雑誌委員会

神山靖基 木村昌栄 五来美奈

平田伸一 中野紀子 (事務局)

URL: <http://www.hitachi-ko-rc.com>

E-mail: info@hitachi-ko-rc.com